

(社)日本原子力学会 標準委員会 リスク専門部会  
第104回 レベル1PRA分科会 議事録

1. 日時 第104回：2020年8月25日(火) 13:30～16:30

2. 場所 Web開催(Webex)

3. 出席者

(出席委員) 高田主査, 桐本副主査, 橋本幹事, 佐藤(吉), 牟田, 岩谷, 二木, 池田,  
佐藤(輝), 三橋, 小森, 塩田(12名)

(常時参加者) 藤崎, 笠原, 不破, 丹野(4名)

(敬称略)

4. 配布資料

P4SC-104-1 第103回L1PRA分科会議事録(案)

P4SC-104-2 人事について

P4SC-104-3-1 内的事象L1PRA標準統合性能化基準案

P4SC-104-3-2 内的事象L1PRA標準統合性能化指針案

P4SC-104-4 基準及び指針の標準構成について

5. 議事内容

(1) 出席者/資料確認

委員12名が出席しており, 分科会成立に必要な定足数を満足している旨が報告された。  
また, 配布された資料が確認された。

(2) 第103回議事録の確認

資料P4SC-104-1を用いて, 第103回分科会の議事録を確認した。コメントがあれば連絡  
いただくこととし, 特になければそのまま正式版とすることとなった。

(3) 人事について

資料P4SC-104-2により, 橋本(望)委員候補(四国電力)の委員選任が承認された。

(4) L1PRA標準統合性能化

資料P4SC-104-3-1及び3-2により, L1PRA標準統合性能化案について検討した。主な議  
論は次のとおり。

- ・基準 6.2.1 における POS の出現確率の規定改定案で、用語として頻度と出現確率が用いられており、誤解のない表現とする。
- ・指針 7.3 a) (2)項での論理モデルによる発生頻度推定で、出力時・停止時の POS に分けて説明があるが、この区分の必要性を再確認する。
- ・指針 9.2 a)項の起因事象従属性の例が一つであり、他の例として LOCA 時の破断配管に接続している注入系等を追加する。
- ・指針 附属書 B の収集すべき情報と情報源において、起因事象・成功基準等に関する記述を充実させる。
- ・指針 附属書 C における PRA の利用者の例は、今後誤解を招くことも考えられるため削除する。また、報告書の構成例では出典を分かり易くし、各文書例の利用目的等を追記する。
- ・指針 附属書 H における ISLOCA の評価での隔離機能の例を追記する。
- ・指針 附属書 Q における人間信頼性解析の例については、追って内容を再確認し最新の状況を反映する。また、これに合わせて人的過誤データに関する項目を追加する。
- ・指針 附属書 U におけるカットセット打ち切りの ASME/ANS 標準での規定振りを確認し、説明に反映する。
- ・上記以外で議論の中で示されたコメントは反映する。

#### (5) 基準及び指針の標準構成について

資料 P4SC-104-4 により、基準及び指針の標準構成について議論した。標準の性能化・階層化に関しては他の分科会・専門部会でも様々な見解があり、今後も継続して議論していくこととなる。PRA 性能のカテゴリ分けに関しては、指針において選択肢として提示してきているが、今後のニーズについてもフォローする。具体的な数値・式等の扱いについては適切な規定振りを基準・指針の役割の中で整理する。

今回の議論に関し、基準・指針の役割分担等の確認に必要な検討資料を準備の上、次回以降に議論していく。

#### (6) スケジュール、その他

次回分科会は 9 月 30 日 PM で web 開催の予定とする。

以上